科目名			担当教員	
介護概論			後藤　美恵子	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CL2065	2	1	RorSR (講義)	1 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

わが国における高齢者の全体像を理解し、社会保障制度である介護保険制度の創設の背景と目的を理解し、介護保険制度の見直しの背景、目的及び基本的視点について理解する。さらに、社会福祉の基本理念を踏まえた上で、人としての尊厳を重視した生活支援のあり方について専門的観点を習得すると共に、専門職しての介護理念を構築することを目的としています。

【教員等の実務経験による指導内容】

高齢者介護総合センターでのケースワーカーやケアワーカー、ケアマネージャーとしての実践経験をいかし、高齢者福祉施策・制度と関連させ人としての尊厳の観点から介護のあり方について、臨床場面から考えさせる。

■到達目標

１）介護を取り巻く社会的背景について説明できる。
２）「介護」をどのように定義づけるのか、介護の概念について説明できる。
３）介護の範囲の考え方と専門性に求められる資質について説明できる。
４）介護過程の仕組みについて説明できる。
５）認知症の原因と症状を踏まえ、認知症高齢者の対応方法について説明できる。
６）高齢者の終末期の特徴とケアのあり方について説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「倫理的実践力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 60%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 40%

■教科書・参考図書

【教科書】

福祉臨床シリーズ編集委員会編『新・社会福祉士シリーズ 13　高齢者福祉（第 2 版)』弘文堂、2026 年

（最近の教科書変更時期）2026 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。

※テキストを持っていない場合でも受講において支障はありません。

【参考図書】

１）渡辺 長編『外国人介護士と働くための異文化理解』大阪大学出版会、2022 年

２ ）黒澤貞夫著『介護福祉の「専門性」を問い直す』中央法規出版社、2018 年
３ ）鬼崎信好著『高齢者介護サービス論：過去・現在・未来に向けて』中央法規出版、2014 年
４ ）老人保健福祉法制研究会編『高齢者の尊厳を支える介護』法研、2003 年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

わが国における高齢化社会における介護の社会的背景を理解し、現代社会における高齢者の人生を支える上での重要となる介護の概念、さらに、社会福祉の基本理念を踏まえた上で、人としての尊厳を重視した高齢期の生活支援のあり方についての理解を深化させ、介護とは何か、その本質を再考する。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会的背景	介護の社会的背景
2	介護の概念	介護の概念と生活支援
3	介護の専門性	介護の範囲と専門性
4	介護過程	ケアマネジメントにおける介護過程
5	認知症高齢者①	基本症状と BPSD
6	認知症高齢者②	認知症高齢者の理解と支援
7	終末期ケア	高齢者の終末期の特徴とケア
8	まとめ	総括と高齢社会の展望
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントと配付資料をもとに講義を進める。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況 20% ＋スクーリング試験 80%（持込可）

試験は単なる知識の確認ではなく、スクーリングで学んだ内容を踏まえた上で、試験課題に沿って自身の見解をどれだけ論述できるかを問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

『高齢者福祉』の第 1 章「高齢者福祉の理念と歴史」の中の 2.高齢者観の変遷、第 2 章「高齢者の動向と高齢者の生活実態」、第 3 章「加齢による心身の変化と福祉・医療ニーズ」、第 5 章「介護保険法」の中の 2.介護保険制度を支える専門職の役割、7.ケアマネジメント、第 7 章「高齢者に関するその他の法律・施策」の中の 6.育児・介護休業法、7.認知症施策をクーリング受講前に読んでおいてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	【高齢者福祉の理念と歴史】 高齢者福祉の理念 （第１章１）	・人権の尊重と、高齢者のための国連原則の 2 点に即して、高齢者の普遍的理念について理解するとともに、老人福祉法、介護保険法等の日本の法律に規定されている尊厳の保持、自立支援等の高齢者福祉の理念を理解する。 キーワード：人権の尊重、高齢者のための国連原則、老人福祉法、高齢社会対策基本法、社会福祉法、介護保険法	・人権の尊重と、高齢者のための国連原則の２点に即して、高齢者の普遍的理念について理解するとともに、老人福祉法、介護保険法等の日本の法律に規定されている尊厳の保持、自立支援等の高齢者福祉の理念を理解し、説明できるようにしましょう。
2	高齢者観の変遷 （第１章２）	・前近代社会から現代までの高齢者観の変遷を学ぶとともに、現代の高齢者観を考える場合のキー・コンセプトであるエイジズム、プロダクティブ・エイジング、およびアクティブ・エイジングを理解する。 キーワード：長老制、敬老思想、社会的弱者、エイジズム、プロダクティブ・エイジング、アクティブ・エイジング	・前近代社会から現代までの高齢者観の変遷を学ぶとともに、現代の高齢者観を考える場合のキー・コンセプトであるエイジズム、プロダクティブ・エイジング、およびアクティブ・エイジングを理解し、説明できるようにしましょう。
3	高齢者福祉制度の発展過程 （第１章３）	・明治以降の貧困者対策および戦後の高齢者福祉のはじまりから介護保険に至るまでの高齢者福祉制度の歴史を概観し、現在の制度に至るまでの経緯と背景を理解する。 キーワード：恤救規則、救護法、生活保護法、老人福祉法、介護保険法	・明治以降の貧困者対策および戦後の高齢者福祉のはじまりから介護保険に至るまでの高齢者福祉制度の歴史を概観し、現在の制度に至るまでの経緯と背景を理解し、説明できるようにしましょう。
4	【高齢社会の動向と高齢者の生活実態】 高齢化の要因 （第２章１） 高齢化の現状と今後の見通し （第２章２）	・現在の日本社会の特徴である少子高齢化という状態について、近代以降の人口変動を踏まえて理解するとともに、基本的な統計的知識を習得し、少子高齢化の要因とその将来的な見通しを理解する。 キーワード：人口転換、平均寿命、出生率、高齢人口	・現在の日本社会の特徴である少子高齢化という状態について、近代以降の人口変動を踏まえて理解するとともに、基本的な統計的知識を習得し、少子高齢化の要因とその将来的な見通しを理解し、説明できるようにしましょう。
5	世帯の状況 （第２章３）	・高齢者の居住形態、および家族介護の担い手の変容から、家族や介護に関する実態や規範の変容を理解するとともに、現代の高齢者や、高齢	・高齢者の居住形態、および家族介護の担い手の変容から、家族や介護に関する実態や規範の変容を理解するとともに、現代の高齢者や、高齢者を支える家族が直面して

	介護と家族 （第２章４）	者を支える家族が直面している諸問題を理解する。 キーワード：世帯状況、家族介護	いる諸問題を理解し、説明できるようにしましょう。
6	【介護保険法】 介護保険制度成立と改正の経緯 （第５章１）	・介護保険制度創設に至る流れを把握して、制度創設の背景、制度創設の意義を理解するとともに、施行後の主要な改正内容を理解する。 キーワード：制度創設の背景、意義、見直し	・介護保険制度創設に至る流れを把握して、制度創設の背景、制度創設の意義を理解するとともに、施行後の主要な改正内容を理解し、説明できるようにしましょう。
7	介護保険制度の仕組み （第５章２）	・介護保険制度の目的、介護保険の運営主体である保険者、被保険者、保険給付と利用できるサービス、利用するための手続き、費用負担、介護報酬など、制度の基本的な枠組みを理解する。 キーワード：基本方針、基盤システム、保険給付、要介護（支援）認定、介護支援、利用者負担	・介護保険制度の目的、介護保険の運営主体である保険者、被保険者、保険給付と利用できるサービス、利用するための手続き、費用負担、介護報酬など、制度の基本的な枠組みを理解し、説明できるようにしましょう。
8	介護保険制度のサービス概要 （第５章３）	・介護保険制度で利用できるサービスの概要を理解する。 キーワード：居宅サービス、施設サービス、地域支援事業、保健福祉事業、権利擁護の仕組み	・介護保険制度で利用できるサービスの概要を理解し、説明できるようにしましょう。
9	介護報酬 （第５章４）	・介護報酬の仕組み、介護報酬の推移と改正のポイントを理解する。 キーワード：介護報酬の請求、支払い方法、介護報酬の改定、算定方法	・介護報酬の仕組み、介護報酬の推移と改正のポイントを理解し、説明できるようにしましょう。
10	介護保険制度における行政・団体等の役割 （第５章５）	・介護保険運営に関わる公私それぞれの組織、団体の役割を理解する。 キーワード：国および地方公共団体の責務、市町村の役割、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金、指定サービス事業	・介護保険運営に関わる公私それぞれの組織、団体の役割を理解し、説明できるようにしましょう。
11	介護保険制度を支える専門職の役割 （第５章６）	・介護保険制度の運営、サービス提供にかかわる専門職の職種の法的定義と介護保険サービス提供における役割を理解する。	・介護保険制度の運営、サービス提供にかかわる専門職の職種の法的定義と介護保険サービス提供における役割を理解し、説明できるようにしましょう。

		キーワード：介護支援専門員、介護職員、医師、歯科医師、看護師、理学・作業療法士・言語聴覚士、歯科衛生士、その他の専門職	
12	ケアマネジメント（第５章 7）	・介護保険制度におけるケアマネジメントを理解する。 キーワード：ケアマネジメント	・介護保険制度におけるケアマネジメントを理解し、説明できるようにしましょう。
13	【地域支援事業と地域包括ケア】 地域支援事業（第６章 1）	・2005（平成 17）年の介護保険法改正において、予防重視型システムへの転換によって創設された地域支援事業の背景を踏まえ、事業の構成や内容、および地域包括ケアの観点から今日的意義を理解する。 キーワード：介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業	・2005（平成 17）年の介護保険法改正において、予防重視型システムへの転換によって創設された地域支援事業の背景を踏まえ、事業の構成や内容、および地域包括ケアの観点から今日的意義を理解し、説明できるようにしましょう。
14	地域包括支援センター（第６章 2）	・地域支援事業の創設と同時に、包括的支援事業を担う目的で創設された地域包括支援センターが、地域包括ケアの中核機関として果たす役割と近年の機能強化の方向性を理解する。 キーワード：地域包括支援センターの目的・機能、組織、機能強化	・地域支援事業の創設と同時に、包括的支援事業を担う目的で創設された地域包括支援センターが、地域包括ケアの中核機関として果たす役割と近年の機能強化の方向性を理解し、説明できるようにしましょう。
15	地域包括ケアシステム（第６章 3）	・地域包括ケアの考え方に基づき、国策となった「地域包括ケアシステム」の構築について、近年の政策動向を学び、地域支援事業や地域包括支援センターの事業展開と重ね合わせて理解する。 キーワード：地域包括ケア	・地域包括ケアの考え方に基づき、国策となった「地域包括ケアシステム」の構築について、近年の政策動向を学び、地域支援事業や地域包括支援センターの事業展開と重ね合わせて理解し、説明できるようにしましょう。

■レポート課題

1 単位め	介護保険制度までの高齢者福祉制度の発展過程を踏まえ、介護保険制度の概要について整理し、その課題について自身の考えを具体的に論述しなさい。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

介護概論は、2009 年度の社会福祉士養成課程におけるカリキュラム及び教科内容の見直しに伴い「高齢者に対する支援と介護保険制度」という枠組みに統合されました。本学では、「高齢者に対する支援と介護保険制度」は高齢

者福祉論と介護概論の 2 科目で構成された経緯があります。したがって、論述式レポート作成に当たっては、高齢者福祉論と関連づけて取り組むことでより理解が深まると思います。

論述式レポート作成に当たっては、テキスト、参考文献等の内容を踏まえ自身の考えを書いてください。

【1 単位めアドバイス】

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更させたといえます。テキスト第１章「高齢者福祉の理念と歴史」の中の 3.高齢者福祉制度の発展過程を踏まえた上で、第５章「介護保険法」、第６章「地域支援事業と地域包括ケア」を精読し介護保険制度の概要を整理してください。さらに、現行の介護保険制度の課題を自身がどのように捉えたのか、今後の介護保険制度の展望を視野において具体的にまとめてください。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

１ ）出題された課題の内容について理解できているか。

２ ）課題に対する解答が指定のテキストの内容を踏まえているか。

３ ）テキストの内容を踏まえて、課題に対する自身の視点で考察がされている。

４ ）記述の分量が、800 字程度以上書かれているか。